皆様

おはようございます。暑い日が続いています。くれぐれも熱中症等にかかられないように、ご留意ください。

さて、いくつかの情報が集まってまいりましたので、地域福祉等に関係のある方々に、送らせて頂いております。お返事の必要はございません。

１. 令和７年度 単位民生委員児童委員協議会会長研修会

令和７年６月２６日（木）～令和７年６月２７日（金）、レンブラントホテル大分において、研修が開催されました。私は、大分県福祉保健部 福祉保健企画課 地域共生社会推進監による行政説明、オムロン太陽株式会社による人権学習「心のバリアフリーについて」の後、13:10～(90 分間) 講演「持続可能な民児協運営を実践するための単位民児協会長としての役割」、14:50～(120 分間) グループワーク（情報交換）「持続可能な民児協運営を実践するための単位民児協会長としての役割」、そして翌日の9:20～（100 分間）活動発表「持続可能な民児協運営を実践するための 単位民児協の体制づくり」①日田市高瀬地区民児協会長溝口純子氏(特に自治会長会や子育てサロン等との関係）、②佐伯市八幡地区民児協会長西嶋信子氏(子育てサロンとの関わり、児童クラブの子どもを1日民生委員に任命した民生委員児童委員の活動の啓発)、③豊後高田市河内田染地区民児協会長光門孝樹氏(地域版活動強化方策の作成過程とその活用）では、報告をお聞きし、会場との意見交換、私のコメントを行いました。

昨年度に続くご依頼で、満足度が低くなっているのではないかと、心配ですが、正直、過疎化が進み、聞きに来られる方々に私の講演が納得して頂けるかどうか、わからないのです。決定的な解決策を私は見出してはいないのです。そこで、私は、委員の方々の日頃の活動を労い、励まし、一緒に考える時にしようと思って臨みました。でも、各委員の方々の誠実な日々の活動をお聞きし、どれだけたくさんの方々の生活が、民生委員の児童委員の方々によって守られていたか知ることができ、励まされました。教師は、参加者の方々であったと思っています。感謝です。

なお、一つの核心は、諦めたら、まちは壊れていくということ。できるだけ応援したいと再確認する研修でした。

２.道徳授業教材・復興教育教材のために『最後だとわかっていたなら』のご紹介をさせていただきます。

<https://www.iwate-np.co.jp/content/taisetunahito-omouhi/school/>

私も、被災地支援を通して、たくさんのことを学んできました。東日本大震災発災後被災地支援を模索し、最近では2020年3月まで、石巻市社会福祉協議会と行政の地域福祉アドバイザーの役割を与えていただき、さまざまな経験をいたしました。大切な人を失った痛みは、決して癒えることはありません。ならば、日々の生活を通して、その痛みをふりかえり、被災者の方々の思いを理解すること。そればかりではなく、普段当たり前に思って感謝するこころを見失っているなら、改めて大切な繋がりを再確認することが、現代の無縁社会への私たちの明確な答えになると考えています。ご参考にどうぞ。

３.起立性調節障害について学びを深める。<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUD098HN0Z00C25A6000000/>

私の出会いは、地域福祉論の授業の聴講にこられた方からの情報が始まりでした。その方は、起立性調節障害をもつ娘さんと共に生きている親の方でした。その方を通して、以下の映画とも出会いました。

『今日も明日も負け犬』(HPより）～16歳が書く一冊の本から始まった奇跡～起立性調節障害のJK 監督　率いる学生映画チームが送る奇跡の実話　監督西山夏実の夢「自分の人生を映画化する」から全てが始まった。

「本書いてよ」 西山（当時１６歳）はクラスメイトの小田（当時１６歳）に言った。緊急事態宣言下の３か月間、脚本の小田実里が映画の原作となる西山の人生を描いた本を執筆。本は即日完売。予想を上回る反響から映画化を決めた。SNS で呼びかけ、監督、脚 本、キャスト、スタイリスト、AD、メイキングなど全てが学生の期間限定チームが結束された。映画の作り方すら誰も知らないそんな「大人立ち入り禁止の撮影現場」が生まれた。「コロナ渦」「学生」「初心者」「初対面」「闘病」様々な壁を乗り越え、１年かけて紡いだのが本映画である

今、私は、起立性調整障害の方々の現実を学び、支援する活動を紹介することが役割と考えております。今後とも、お伝えしたいと考えています。

４.全社協

＜今号のトピック＞

社会福祉協議会基本要項2025の概要

●全社協「社会福祉協議会基本要項2025」の概要②～社協の使命として「ともに生きる豊かな地域社会」を創造することを掲げた（令和7年3月）

全社協からのお知らせ

●全社協経営協 福祉現場と学生をつなぐ！「社会福祉HERO'S スクール」オンライン授業

参加校随時募集中！～福祉の仕事は、クリエイティブで面白い！～

制度・施策等の動向

●内閣官房「防災庁設置準備アドバイザー会議 報告書」（令和7年6月4日）

●内閣府「災害対策基本法等の一部を改正する法律」公布（令和7年6月4日）

●厚生労働省「第120回・第121回社会保障審議会介護保険部会」開催（令和7年6月2日、5月19日）

●厚生労働省「『地域共生社会の在り方検討会議』の中間とりまとめ」（令和7年5月28日）」

情報提供・ご案内

●厚生労働省「多様な主体による総合事業（サービス・活動A等）実施の手引き」及び「都道府県プラットフォーム構築の手引き」について(令和7年6月3日)

●中央防災会議会長（内閣総理大臣）による「梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について」の通知について(令和7年5月30日)

●厚生労働省「原則として医行為ではない行為」に関するガイドラインについ(令和7年5月19日)

≪配信元≫

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 地域福祉部／

全国ボランティア・市民活動振興センター

電話 03-3581-4655/4656 z-chiiki@shakyo.or.jp

５.東京都地域公益活動推進協議会

東京都地域公益活動推進協議会では、社会福祉法人による地域公益的な取組みを広く共有・発信する場として、社会福祉法人武こひつじ会、こひつじ国際共育センターの「おさがりランド」の取組みを取材し、YouTubeチャンネルで公開を開始しました。

おさがりランドは家庭で不要になった子供服やおもちゃ、絵本などの寄付品を持って帰ると同時に、参加者に家庭で眠る不要なものも持ってきてもらえるよう呼びかけた交換の場となりました。

おさがり品を集める中で、活動に興味を持ってくれた地域の方々、「おさがりクルー」とともに、「世界一のコレクティブコミセン」を目指して、公益的な取組みを進めています。

取組みを通じて、新しくセンターに訪れる地域住民が増え、センターが認知されるきっかけにもなっています。

■「おさがりランド」動画視聴はこちらから！！

<https://clk.nxlk.jp/m/Oicl83YPF> <[https://clk.nxlk.jp/m/Oicl83YPF>](https://clk.nxlk.jp/m/Oicl83YPF%3E) <[https://clk.nxlk.jp/m/Oicl83YPF>](https://clk.nxlk.jp/m/Oicl83YPF%3E)

また、当協議会では会員法人様への情報提供として、不定期で「NEWS LETTER」を発行しています。

この度、vol.12を発行したのでお知らせいたします。

ぜひご覧ください。

▼地域公益推進協議会NEWS LETTER vol.12（＊PDF形式で開きます）

<https://clk.nxlk.jp/m/gmTzboMUF>

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

＜東京都地域公益活動推進協議会 事務局＞

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会

暑い日が続きます。くれぐれもご自愛ください。

市川一宏